



南房総の風し

地域連携のススメ!

【社会に開かれた教育課程】地域学校協働活動とPTA活動

本号では、学校・家庭・地域との連携がより組織的・効率的な連携となるよう『地域連携のススメ』を御紹介します。地域連携の意義や効果をはじめ、活動の流れや手引き等について、まとめてありますので、是非御活用ください。また、後半では、管内で具体的な取り組みを行っている学校を紹介しています。参考になれば幸いです。



『地域連携のススメ』は、令和3年3月に千葉県教育庁教育振興部生涯学習課が作成した、学校と地域の連携・協働を進めていくためのガイドブックです。

構成は、

- I 地域連携の意義と効果
- II 活動の進め方
- III 組織的・効率的な連携のために
- IV 参考・引用

の4つからなっています。県HPからは、本ガイドブックや申請書様式のダウンロード、研修動画の視聴ができます。



I 地域連携の意義と効果

ここでは、(1) 地域連携の意義 (2) 社会に開かれた教育課程 (3) 地域連携の効果について書かれています。今回は、(3) 地域連携の効果についてご紹介します。

地域と学校が連携・協働することによって子供・学校・地域へさまざまな効果が期待できます。

【子供へ】

- ・地域の人から愛情を注がれることにより、自己肯定感や思いやりの心が生まれる。
- ・地域の人たちと一緒に学ぶことにより、地域への愛着や担い手としての自覚が育つ。
- ・多様な人との関わりや多くの体験をすることで、社会性が育つ。 等

【学校へ】

- ・地域の人との関わりが生まれ、地域と学校の双方向の理解が深まる。
- ・地域の人々の専門的な知識・技能や地域資源を教育活動に生かすことができる。
- ・子供の教育に対する責任や役割を地域と学校で分かち合うことができる。 等

【地域へ】

- ・自分の経験や知識・技能を生かすことで、自己実現につながる。
- ・学校や子供への関わりを通して、地域住民同士のつながりが生まれる。
- ・学校が地域住民の社会参画の場となり、地域の活性化につながる。 等



『II. 活動の進め方～IV. 参考・引用』については、是非ガイドブックをご覧ください。

次ページには、具体的な実践として、管内K中学校の取り組みを紹介します。学校・家庭 (PTA) ・地域が連携して教育活動に取り組んでいます。

II K中学校の実践例

1 学校と地域の連携（地域学校協働活動）

(1) 学校が地域へ

- ⇒地元プロチーム公式戦での吹奏楽部演奏、サッカー部員がボールボーイを務める
- ⇒生徒会が企画・運営（生徒の主体的な活動）した、全校生徒での海岸清掃
- ⇒市が進めている観光事業“花”の種まき、観光イベントへの参加
- ⇒市土曜スクール（小学生対象事業）の受け入れ（家庭科部が合同調理実習開催）
- ⇒地元祭礼・イベントへの参加（吹奏楽部）、出店（家庭科部）
- ⇒来訪した外国人（修学旅行）の受け入れ（日本の伝統文化による交流）



(2) 地域が学校へ



- ⇒地元総合病院のスタッフが来校し、運動部活動生徒を対象としたメテカルチェック・フィードバック、顧問対象の研修会の実施（市教委との連携）
- ⇒地元プロチームスタッフが家庭科（調理実習）に参加し、健康と栄養について指導
- ⇒地元漁港の遊漁船有志による、乗船・釣り体験『海からまちを眺めよう！』
- ⇒生徒が考案した“菜の花”を使った料理を地元レストランで商品化

⇒企業と連携し、生徒がデザインした作品をタクシーのラッピングに採用

⇒地元企業が卒業生に贈答品進呈（地元産のお米を使った“おかき”）

⇒民間スポーツクラブによる保健体育（水泳）の場の提供と指導（市教委との連携）

⇒福祉教育…市社会福祉協議会・地元高校・小学校との連携・協働

⇒キャリア教育への支援…1年生：職業インタビュー、2年生：職場体験学習、地元総合病院オペ室体験

⇒強豪大学（陸上競技部）【オリンピック】による陸上教室の開催



2 PTAボランティア部を新設（全体の役員数は半減）

※自分の特技や趣味、空いている時間を使って、学校教育活動支援を実施

⇒環境整備…通常のPTA奉仕作業以外に、実情に応じて適宜実施

⇒記録撮影…学校行事や日常の教育活動を記録に残し、パスワード設定の上、クラウド上にアップすることで、保護者はいつでも写真を閲覧することができる。（教職員の写真を撮る手間が減少）

⇒学校行事補助…2年生の自然体験（宿泊）学習に保護者がスタッフとして同行し、安全配慮・見守り・野外炊事補助



・登山補助・記録撮影等を実施（教員の負担軽減、保護者の学校理解促進）

…体育祭：会場づくり・テント設営、卒業式の記念撮影用の看板作成・設置、K中サミットへの参加（地域住民・保護者・生徒・教職員が一堂に会し、テーマに沿って小グループで意見交換）

⇒授業補助…家庭科の調理実習やミシンでの作業等を補助者として支援

⇒部活動地域移行にむけて…部活動が終了した週末の午後、希望者を募り、地域指導者による活動の実施

⇒専門部補助…“PTA指導部・レク部・研修部・広報部”への参画・支援

◎自分の子供が卒業後も、地域住民として“学校支援ボランティア”になっていくことが期待される